

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和5年 10月 5日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県彦根市平田町570-12

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
滋賀イエローハット株式会社  
代表取締役 橋川 高治

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	滋賀イエローハット株式会社 代表取締役 橋川 高治
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市平田町570-12

1 事業者の概要

事業所の名称	イエローハット大津堅田店					
事業所の所在地	滋賀県大津市今堅田2丁目11-5					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	5	9	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車部品・付属品小売業
事業の概要	自動車部品・アクセサリーの販売並びに自動車の修理・検査等の整備					
従業員の数	9	人	作業時間	9	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	0	台
	コンプレッサ	1	台	空気調和設備	13	台
				照明設備	165	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2	年度	報告対象年度	4	年度
	終了年度	4	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

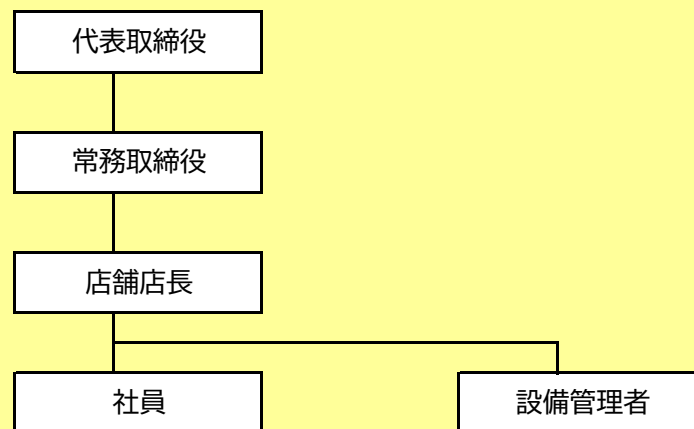
計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

イエローハットは「物の命を大切にすること」に創業以来拘ってきており、「無駄なものは購入しない」、「利用できるものは最後まで使い切る」、「使い切った後、再利用出来る物は徹底的にする」、「ゴミの量を極力減らせるように減量(容)、分別、再資源化する」ことを実行し、事業活動及び、サービスに取り入れてきました。このような活動は、現在に置き換えると「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の3Rの考え方に繋がっています。毎朝、近隣の掃除を実施しています。又、コピー紙の両面使用、再生紙の種類別の分別、廃棄物の分別及び減量(容)、照明の消灯、冷暖房温度の管理等、環境マネジメントシステムできる以前から、全社のスタンダードとして環境保全活動に取り組んでいます。

## 2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

## 1. 省資源及び廃棄物削減

- ①レジ袋の見直しをおこない、今までよりも厚みの薄いものへ変更しました。また、ポスターやPOPの掲示、店内放送を利用しお客様へご理解、ご協力をお願いしています。
- ②本社にて、使用していない文房具を専用ケースに集約し共有化しています。使わなくなったり過剰になった際はこのケースに入れ必要になった際は持ち出す仕組みになっており、資源の有効利用を図っています。
- ③廃オイルから水分や金属粉等を取り除くために、店舗から委託先のタンクローリーが収集・運搬し、委託先の処理施設で資源化再生処理されます。廃オイルは、資源化再生処理をされると、そのほとんどが再生重油となり、工場等の燃料として利用されます。

## 2. 廃棄物の適正処理及び再資源化

- ①タイヤ交換で排出された廃タイヤは、指定の収集運搬業者に委託されます。そして再生業者や更生タイヤメーカー、中間処理業者、中古タイヤ業者を経て、確実に活用されています。
- ②廃バッテリーは鉛蓄電池再資源化協会が運用しているリサイクルスキームで適正にリサイクルしています。「使用済み鉛蓄電池」のリサイクルについて一例を挙げますと、回収された使用済みバッテリーは解体され、鉛部分、電槽、電解液に分別されます。そして、鉛部分は精錬されて再生鉛に、電槽は破碎されて再生樹脂に、電解液は処理後再利用、または廃棄物として処理されます。

## 3. 環境配慮型商品の販売

- ①タイヤの転がり抵抗の低減を図ることで、車の燃費向上によるCO<sub>2</sub>の排出量削減を実現すると同時に、ウエット性能も確保し、「エコ」と「安全」を両立させた「低燃費タイヤ」低燃費タイヤは、日本自動車タイヤ協会が策定したテストに合格したタイヤのみが表示できる「エコ」「安全」の証しです。
- ②使用済みバッテリーはリサイクルします。パッケージは地球に優しいリサイクル可能な紙の素材を使用しています。
- ③VICS対応車載器は、カーナビゲーション等の中に事故や渋滞情報がリアルタイムに表示され、事故や渋滞を回避して運転時間を短縮するものです。さらに事故や渋滞を回避する事で、排気ガス、二酸化炭素、騒音を低減させ、燃費の向上にも繋がります。



(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調設定温度の緩和	R2～4年	継続実施
2	運用改善	空調室外機ファンの清掃	R2～4年	継続実施
3	設備導入	蛍光灯・水銀灯照明のLED化	R2	導入済
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
目標;エネルギーの使用量を令和2年～令和4年の3年間で40%削減する。(令和元年度を基準として)	1.空調設備温度の緩和・・・店内エアコンの設定温度を変更(冬季11月～2月、28度→25度、夏季6月～9月、23度→26度) 2.空調室外機のファン清掃・・・令和4年1月に実施(今後も定期的に実施する) 3.蛍光灯・水銀灯照明のLED化・・・令和2年10月に取り換え完了

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		( 2 )年度	( 3 )年度	( 4 )年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	39	35	21	21		
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	53	45	28	28	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	53	45	28	28		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
HFCs	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
PFCs	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
レジ袋の削減 代車を普通乗用車から軽自動車へ変更	レジ袋の有料化に伴い大幅に配布量の削減・・・継続実施中 令和3年5月に乗り換え実施

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
目標:レジ袋の配布からお買上時のお印に変更することによりレジ袋の使用数を95%削減する →目標設定の考え方:化石燃料を使った買い物袋を大幅に削減することによりCO <sub>2</sub> 及びゴミの排出量削減を目指す。95%削減という目標設定は有料化以降この程度の削減が出来ていることからこの数字に目標を設定しました。 目標:ガソリン使用料の削減 →目標設定の考え方:燃費性能の向上を図るべく普通乗用車から軽自動車に変更しガソリン使用料を削減する。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価
レジ袋の配布からお買上時のお印に変更することによりレジ袋の大幅削減に繋がりました。以前の無料配布時と比べると95%程度削減に成功。 代車の変更:普通乗用車(燃費9km/L)から軽自動車(燃費15km/L)へ変更したことにより化石燃料の使用量削減に成功。

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh						
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	事業所から出るごみの分別&リサイクル化		継続して実施中
2	3R	交換部品の中からリサイクルできるものについてはリサ イクル業者へ引き渡し		継続して実施中
3				
4				
5				